



福祉人材センター × 介護福祉士会

ふくし・かいご通信

2023
5月
No. 20



北海道福祉人材センター
HPリンク

発行：社会福祉法人北海道社会福祉協議会
北海道福祉人材センター ☎011-272-6662

北海道福祉人材センターでは、一般社団法人北海道介護福祉士会の協力を得て、福祉・介護に関する基礎知識や日常に役立つ情報を定期的に発行しています。

今月は… 私の介護ストーリー

一般社団法人北海道介護福祉士会 道北支部副支部長 横山 祐一 氏
(社会福祉法人 友和会 デイサービスきらら 生活相談員)



社会福祉法人 友和会
デイサービスきらら

エピソード1 「福祉に携わるきっかけ」

私が福祉に携わるきっかけになった出来事は19歳の時。大学進学を目指して一浪し受験するも不合格。悶々とした気持ちで、もう1年アルバイトをしながら浪し受験をしようと思い、アルバイトの面接に向かおうとした時に1本の電話が入りました。

出てみると相手は日頃からいろいろな相談をしていた先輩からでした。そして端的に一言「祐ちゃんと日頃接していて思うんだけど、例えば福祉に携わる様な仕事をしてみたらどう？」と言われたのです。その一言が私の心にストーンと落ちました。実は中学生の時に生徒会の行事でデイサービスのボランティアに参加したことがあり、とても楽しい思い出になっていたことを思い出しました。

今思うと、その当時の私は、大学に進学すること自体が目的になりその先のビジョンが見えていない事に気付いたのです。そしてアルバイトの面接を断り、受験勉強にピリオドを打ち、急転直下、その年の春に社会福祉士の資格取得を目指して専門学校に入学することになりました。

専門学校での3年間は多くの方々に恵まれ、充実した時間となりました。そしてお世話になっていた先生の提案で社会福祉士の受験資格を得るための実務経験にと、現在勤めているデイサービスセンターでお世話になり、早15年の歳月が流れました。



通所介護

平成14年4月1日設立

職員数 18名

利用定員 40名

法人理念

「愛」「希望」「感謝」を理念とし、利用者の生活を支援、職員の生活を守り、地域の期待に応えます。



エピソード2 「 介護の仕事始めて 」

22歳でデイサービスの介護職員として勤め始めました。勤務し始めた当初の私は、周りの人から自分がどう見られているのかを気にするあまり、怒られない様に当たり障りのない会話や振る舞いをする事に終始していました。しかしメッキはすぐに剥がれ、中途半端な対応をしたことで相手に不愉快な思いをさせる事になり、行き詰まることしばしばありました。その中で自分がどうなろうと構わない、どうすれば相手が喜んでくれるのか、楽しんでくれるのかを考えて本音で相手にぶつかろうと腹を決めて関わるようにしたところ、少しずつ利用者さんからの信頼を得られるようになったと思います。勇気を出していろいろなことに挑戦してみることで、できるかどうかよりも、やるんだという気持ちが必要なのだという事をこの仕事を通して年々強く感じています。



エピソード3 「 デイサービスという立場で何が出来るか 」



社会福祉士取得を目指していましたが、介護現場で働いていることもあり、まずは介護福祉士を取得。その後、社会福祉士を取得し生活相談員として勤務し始めて7年が経ちました。その中でもこの3年間は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎつつ、今ある環境で利用者がいかに楽しく充実した時間を過ごしてもらえるのかを考えていく事が大きなテーマとなりました。

その中で特に意識して取り組んでいることが2つあります。

1つは利用者・ご家族と今まで以上に綿密にコミュニケーションを取ることです。お便りでの発信に加え、利用者だけでなくご家族の健康状態や学校、仕事の状況等、可能な限り情報収集を行い、体調面等で気になったことはすぐ確認を行い、必要に応じた対応を地道に繰り返していきました。それにより現在まで施設内でのクラスター発生等には至らず、実績としても大きな減少なくサービス提供を継続することにつながることが出来ました。

もう1つはサービスの個別化に向けた取り組みです。当事業所は1日の利用定員が40名の大規模通所施設となっていますが、通所する利用者の年齢層やニーズも幅広く、サービス提供において柔軟性と多様性が求められます。そこで運動やレクリエーション等のサービスをひとまとめにせずADLや利用者のニーズに合わせて簡単なものから難易度の高いメニューまでバリエーションを数種類用意し、その中から利用者自身が選択して参加してもらうことを心掛けています。そうすることで、より主体的に考えてサービスを受けてもらうことができ、それぞれの目標達成や在宅生活を継続する上での生きがいにもつながっていくと思っています。

そこで土台となることは、サービスの内容だけでなく、先ほどお話しした利用者とのコミュニケーションにより、相手の事をより深く知り、可能な限り利用者1人ひとりの要望に応えていく事で信頼関係を築いていくことが不可欠になります。時には力不足で失敗することたくさんありますが、そこに向き合い、挑戦し続けていく事が利用者、ご家族、働いている職員が楽しい時間を共有していく事につながると信じて今後も努力していきたいと思っています。



読者へのメッセージ

この度は、貴重な機会を頂きありがとうございます。

福祉を志したときの心境や勤務して間もない頃を振り返ることで原点に立ち帰り、どうすれば関わっていく相手はもちろん、自分自身も楽しく生き活きとした時間を過ごしていけるのかを考えて、挑戦を繰り返して行きたいと思います。



ご感想入力フォーム

「ふくし・かいご通信」をお読みいただきありがとうございます。
皆さまからのご感想をお待ちしております！



次回は、「介護のワンポイント」です。

福祉の職場で介護福祉士として働いている方から、介護に関するワンポイントとして介護に関する基礎知識や日常に役立つ情報をお伝えいたします。



一般社団法人北海道介護福祉士会

介護福祉士の職業倫理の向上、介護に関する知識技術・
経験を深めて資質向上を図り、北海道の福祉の推進に
寄与している団体です。 ★ 新入会員募集中 ★

TEL&FAX 011-222-5200



北海道介護福祉士会
HPリンク

北海道福祉人材センターでは、
福祉職場への就職に関する相談を随時受付けております。
お気軽にお問合せください。

TEL 011-272-6662

発行：北海道福祉人材センター